

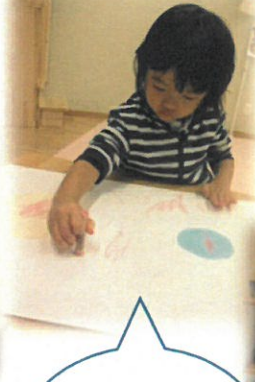
10月に入り、綺麗な紅葉が見られる季節になりました。気温・植物の実り・色彩・虫の音色など五感で感じ、変化を楽しみたいですね。また、室外との寒暖差には気をつけ体調を崩さないよう健康に過ごしていきたいと思ひます。



あおとくんのは何を描いているのかな？



おさかなのお口も描くの



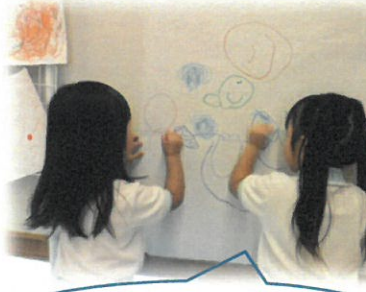
ピンク色のさくらんぼ♪



丸の中だけ描くの



ママのお顔描いているの



丸の中に色塗りしてみる♪

●模造紙お絵描き
大きな模造紙に思いのままお絵描きを楽しんでいます。白紙の模造紙に子どもたちがどんな思い、イメージで描いているのかを大切にしています。

●仕掛けお絵かき
画用紙にあらかじめ丸の形に切ったものを貼り渡してみます。丸の存在に気づいた子どもは丸を顔に見立てたり丸の中だけ描いてみたりなど、それぞれ思いのまま描いています。

「冷静に」とはわかっている

子育てするなかで、叱り方についての関心が高く、悩んだり困ったりするママはとて多いようです。「冷静に叱ることが大事」確かに間違っていないのですが、「でも・・・」と私は思ってしまうのです。なぜなら、実際に子育てをしているママたちは、家事や地域活動や仕事など、子育て以外に生活の中で毎日やらなければならないことがたくさんあります。いつも落ち着き、穏やかな顔で子どもと接することが良いと頭ではわかっている、そんなに簡単ではないと感じるからです。子育ては生活ですから、イライラすることもいっぱいあるでしょう。多くのママも、「また怒ってしまった」と自己嫌悪を繰り返しているのではないのでしょうか。無理に笑顔を作って向き合うよりも、イライラしている自分を認めて、素朴な言葉で説明することは、子どもに対して感情的にならない方法にもなるでしょう。また、子どもにどんなにイライラしたとしても手は出さないでください。「体罰はしつけ」と思っている親がいますが、それは違います。たたかれた子どもは、親が自分を愛しているからたたかるとは決して感じないでしょう。「大人が強制的に型にはめる」のがしつけとイメージしがちですが、子どもの自立のためには、「子ども自身が納得して、自分で〇〇しようと思える気持ちを育てること」が大切です。

「幸せ子育てのコツ」 著作：大豆生田 啓友

自分に余裕がない時だからこそ一息つき、子どもの気持ちを受け止め一人ひとりの子どもらしさを大切に過ごしていきたいと思ひます。

○11月のねらい

- ・気温の変化に留意して、一人ひとりが健康で快適に過ごせるようにする。
- ・保育者や友だちと一緒にごっこ遊びやつながり遊びを通して、友だちと遊ぶ楽しさを味わう。
- ・木の実や落ち葉など晩秋の自然に触れ、興味をもって遊ぶ。